

初夏を告げるすもも、農学部生が収穫 「すももちゃんサイダー」6月7日から特別販売開始

摂南大学（学長：久保康之）農学部の学生が、キャンパスのある枚方市の農園で初夏が旬のすももの収穫を6月15日から始めます。枚方市、地元農園とのコラボで開発した「すももちゃんサイダー」の原料にします。7月13日まで毎週土曜日の計5回にわたり、約400キロの収穫を見込んでいます。

【本件のポイント】

- 初夏が旬のすももを農学部の学生が収穫
- 枚方市と地元農園、本学がコラボで特産品再生に開発したサイダー原料に使用
- サイダーを6月7日からスーパー「万代」で特別販売



（左から）たわわに実ったすもも、脚立に登り収穫する学生、甘酸っぱい香りを放つ実＝過去の収穫から

本学農学部は2020年4月に開設。2021年3月、農業振興・食などについて地域課題の解決や地域の活性化を目的に、枚方市と連携協定を締結しました。同市杉地区には古くから「すもも団地」と呼ばれる地域があり、すももは特産品として知られていました。このすももに着目して、学生プロジェクトチームを発足させ、サイダーのレシピを開発、同年秋に「すももちゃんサイダー」として完成させました。香料や着色料は一切使用せず、すもも本来の淡いピンク色で、さわやかな酸味を楽しめます。特産品を再生させたと注目を集め、2022年から枚方市のふるさと納税返礼品にも採用されています。

杉地区には現在も約8000平方メートルの丘にすもも約100本が栽培されています。収穫は1回に3～4時間かけ、学生10人前後が、たわわに実った枝から一つずつ丁寧に摘み取ります。すももは収穫当日に本学に持ち帰り、計測や洗浄、種取り、冷凍保存まで実施します。

すももちゃんサイダーは1本230円（税別）。これまでに2万5000本を製造しました。主に学内のコンビニエンスストアで販売していましたが、問い合わせが多く寄せられることから、特別販売（計480本）を6月7日からスーパーマーケット「万代」の4店舗で開始します。



【すももの収穫】

日 時：2024年6月15日、22日、29日、7月6日、13日

いずれも土曜日、時間は午前を予定

場 所：山口農園（大阪府枚方市杉北町1-1055-2）

【すももちゃんサイダーの販売場所など】

販 売：スーパー万代 枚方店（大阪府枚方市西禁野2-46-3）

枚方高野道店（大阪府枚方市高野道1-23-10）

長尾西店（大阪府枚方市長尾西町2-5-1）

香里ヶ丘店（大阪府枚方市香里ヶ丘3-12-3）

価 格：230円（税別）

内容量：250ml

■内容に関するお問い合わせ先

摂南大学 農学部事務室（担当：国分） TEL:072-896-6000

■本件発信部署・取材のお申し込み先

学校法人常翔学園 広報室（担当：石村、上田） TEL:06-6954-4026 Koho@josho.ac.jp